

日用品の返品実態調査結果 詳細資料

1.調査概要

(1)調査対象

■ 調査対象カテゴリー

- ① 日用雑貨：日用雑貨、一般化粧品、ペットフード
- ② OTC医薬品

■ 調査協力企業

－ 2015年度の「日用雑貨・OTC医薬品の返品実態調査」協力企業は、以下の卸売業5社、小売業19社である。

- 卸売業(5社)

アルフレッサヘルスケア、あらた、大木、花王グループカスタマーマーケティング、PALTAC

- 小売業(19社)

イオンリテール、イズミ、イトーヨーカ堂、ウエルシア薬局、ココカラファイン、コメリ、サークルKサンクス、CFSコーポレーション、セブンイレブン・ジャパン、DCMホールディングス株式会社、ファミリーマート、フジ、マルエツ、ミニストップ、ヤオコー、ユニー、ライフコーポレーション、ラルズ、ローソン

1.調査概要

(参考)調査協力企業の市場カバー率

- 本調査への回答協力企業が、業界全体のうちどのくらいの取引量をカバーしているかを「市場カバー率」で示す。
- 調査に協力した卸売業・小売業の日用雑貨・OTC医薬品における「市場カバー率」は下表の通りである。

調査協力企業の市場カバー率

	日用雑貨	OTC医薬品
卸売業調査	57.5% (回答企業3社)	62.8% (回答企業3社)
小売業調査	27.6% (回答企業19社)	17.2% (回答企業12社)

(注1)市場カバー率は以下方法で算出した。

卸売業調査:卸売業各社の小売業への売上高(売価)÷卸売業・小売業間の業界全体の取引規模(注2)

小売業調査:小売業各社の卸売業等からの仕入高(原価)÷小売業・卸売業間の業界全体の取引規模(注2)

(注2)業界全体の取引規模は別途推計した。

推計方法は後述「4.日用雑貨・OTC医薬品の業界全体の返品額推計 (1)推計方法」に記載した。

1.調査概要

(2)調査項目の説明及び留意点

■ 調査項目

－ 卸売業調査

- ・ 小売業への売上高
- ・ 小売業からの返品額(売価)
- ・ 小売業からの返品理由
(日用雑貨のみ商品部門別・小売業態別の売上高・返品額を追加調査)
- ・ メーカーからの仕入高
- ・ メーカーへの返品額(原価)
- ・ メーカーへの返品理由
- ・ メーカーへの返品にかかる返品処理経費

－ 小売業調査

- ・ 卸売業等からの仕入高
- ・ 卸売業等への返品額(原価)
- ・ 卸売業等への返品理由

1.調査概要

(2)調査項目の説明及び留意点

■ 返品率・返品理由

- 返品率は以下の計算で算出した。
 - ・「小売業→卸売業」の返品率＝小売業からの返品額(売価)÷小売業への売上高
＝卸売業等への返品額(原価)÷卸売業等からの仕入高
 - ・「卸売業→メーカー」の返品率＝メーカーへの返品額(原価)÷メーカーからの仕入高
- 卸売業調査の「卸売業→メーカー」の返品には、「小売業→卸売業」の返品が含まれている場合がある。
- 卸売業調査の対象範囲は、卸売業各社が実在庫を所有し販売する取引であり、協議会に加盟していない多数の小売業との取引が含まれている。

■ 返品処理経費率

- 「返品処理経費」は、以下の費用を各社で集計し合算したものである。
 - ① 現場処理人件費(社員・パート)
 - ② 現場不動産費用(占有スペース家賃相当額)
 - ③ 現場処理施設費(機器・什器のリース又は償却額)
 - ④ 社内経理処理費(人件費・システム経費)
 - ⑤ その他社内諸経費
- 返品処理経費率は「返品処理経費÷メーカーへの返品額」で算出した。

2. 日用雑貨の返品実態

(1) 返品率及び返品処理経費率

■ 卸売業調査結果

- 「小売業→卸売業」の返品率: 2.07% 昨年度より低下(▲0.10ポイント)
- 「卸売業→メーカー」の返品率: 2.82% 3年連続で低下(▲0.11ポイント)

■ 小売業調査結果

- 「小売業→卸売業」の返品率: 2.77% 昨年度より上昇(+0.56ポイント)

日用雑貨の返品率及び返品処理経費率

		日用雑貨												
		卸売業調査						小売業調査						
		2015年度	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度	2009年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度
返品率	小売業→卸売業	2.07%	2.16%	2.03%	2.09%	2.13%	1.94%	1.99%	2.77%	2.21%	2.70%	3.00%	2.71%	1.77%
	卸売業→メーカー	2.82%	2.93%	3.01%	3.19%	3.14%	2.86%	2.99%	—	—	—	—	—	—
返品処理経費率 (返品処理経費÷メーカーへの返品額)		6.00%	6.75%	6.63%	6.70%	5.86%	5.92%	5.57%	—	—	—	—	—	—

(注1) 年度によって集計対象企業が一部異なるため、年度間の比較には注意を要する。

(注2) 日用雑貨は、日用雑貨・一般化粧品・ペットフード等が対象。制度化化粧品、医薬品は対象外。

(注3) 小売業調査の集計対象は、製・配・販連携協議会の加盟小売業である。

卸売業調査の集計対象は、協議会に加盟していない多数の小売業との取引が含まれている。

2. 日用雑貨の返品実態

(2) 返品が発生理由

■ 小売業からの返品理由

- 「年2回の棚替え・季節品」(68.4%)が最も多く、次いで「定番カット」(11.5%)となっている。(卸売業調査)

■ メーカーへの返品理由

- 「年2回の棚替え・季節品」(80.0%)が最も多い。

日用雑貨の返品理由別構成比

		日用雑貨												
		卸売業調査						小売業調査						
		2015年度	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度	2009年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度	2011年度	2010年度
小売業からの返品理由	①閉店・改装	1.5%	1.2%	1.1%	1.0%	1.9%	2.7%	2.7%	2.0%	0.5%	0.1%	0.2%	0.6%	4.2%
	②年2回の棚替え・季節品	68.4%	67.9%	72.3%	70.8%	70.6%	70.6%	70.0%	58.5%	61.1%	77.9%	72.8%	44.7%	67.4%
	③特売残	4.0%	3.9%	4.4%	5.1%	2.3%	2.3%	1.7%	0.5%	0.0%	—	—	—	0.6%
	④定番カット(随時の商品改廃)	11.5%	9.4%	9.2%	11.9%	12.7%	13.7%	12.5%	15.0%	12.5%	2.0%	1.6%	27.2%	2.2%
	⑤販売期限切れ	0.8%	0.6%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	0.8%	2.3%	0.9%	0.0%	—	5.0%	2.2%
	⑥汚破損	0.8%	0.4%	0.7%	0.7%	1.2%	1.3%	1.2%	8.1%	9.4%	10.3%	2.0%	1.4%	1.3%
	⑦その他(メーカー起因等)	13.0%	16.6%	11.9%	10.1%	10.8%	9.0%	10.9%	13.5%	15.6%	9.7%	23.4%	21.1%	22.2%
メーカーへの返品理由	①納品期限切れ	0.7%	0.5%	0.3%	0.3%	0.3%	—	10.0%	—	—	—	—	—	—
	②庫内破損	0.4%	0.2%	0.2%	0.2%	1.3%	1.3%	3.0%	—	—	—	—	—	—
	③特売残	3.9%	3.9%	4.4%	4.9%	2.6%	0.7%	10.0%	—	—	—	—	—	—
	④年2回の棚替え・季節品	80.0%	83.9%	82.7%	80.1%	81.8%	80.2%	63.8%	—	—	—	—	—	—
	⑤定番カット(随時の商品改廃)	14.8%	10.2%	10.9%	13.0%	11.4%	14.8%	8.0%	—	—	—	—	—	—
	⑥その他(メーカー起因等)	0.2%	1.4%	1.5%	1.5%	2.6%	3.1%	5.1%	—	—	—	—	—	—

(注1) 年度によって集計対象企業が一部異なるため、年度間の比較には注意を要する。

(注2) 日用雑貨は、日用雑貨・一般化粧品・ペットフード等が対象。制度化化粧品、医薬品は対象外。

(注3) 小売業調査の集計対象は、製・配・販連携協議会の加盟小売業である。

卸売業調査の集計対象は、協議会に加盟していない多数の小売業との取引が含まれている。

3.OTC医薬品の返品実態 返品率・返品処理経費率及び返品が発生理由

■ 卸売業調査結果

- 「小売業→卸売業」の返品率は 3.35%。
- 「卸売業→メーカー」の返品率は3.86%。

■ 小売業調査結果

- 「小売業→卸売業」の返品率は4.44%。
- 主な返品理由は「年2回の棚替え・季節品」(構成比68.4%)。

OTC医薬品の返品率

		OTC医薬品			
		卸売業調査		小売業調査	
		2015年度	2014年度	2015年度	2014年度
返品率	小売業→卸売業	3.35%	2.94%	4.44%	2.61%
	卸売業→メーカー	3.86%	3.55%	—	—

(注1)OTC医薬品には、処方せん医薬品を含まない。

(注2)小売業調査の集計対象は、製・配・販連携協議会の加盟小売業である。卸売業調査の集計対象は、協議会に加盟していない多数の小売業との取引が含まれている。

OTC医薬品の返品理由別構成比

		OTC医薬品			
		卸売業調査		小売業調査	
		2015年度	2014年度	2015年度	2014年度
小売業からの返品理由	①閉店・改装	0.8%	0.7%	2.4%	0.2%
	②年2回の棚替え・季節品	77.9%	77.4%	68.4%	62.0%
	③特売残	10.0%	13.9%	1.6%	—
	④定番カット(随時の商品改廃)	9.6%	3.6%	18.4%	9.9%
	⑤販売期限切れ	0.8%	3.9%	3.1%	7.8%
	⑥汚破損	0.8%	0.2%	0.6%	1.0%
	⑦その他(メーカー起因等)	0.1%	0.2%	5.5%	19.1%
メーカーへの返品理由	①納品期限切れ	0.7%	2.5%	—	—
	②庫内破損	0.7%	0.2%	—	—
	③特売残	7.9%	10.9%	—	—
	④年2回の棚替え・季節品	83.1%	83.3%	—	—
	⑤定番カット(随時の商品改廃)	7.5%	2.9%	—	—
	⑥その他(メーカー起因等)	0.1%	0.2%	—	—

4. 日用雑貨・OTC医薬品の業界全体の返品額推計

(1) 推計方法—①日用雑貨

■ 日用雑貨の業界全体の返品額推計方法

- 「卸売業→メーカー」の返品額 = 卸・メーカー間の取引規模 × 返品率
- 「小売業→卸売業」の返品額 = 卸・小売間の取引規模 × 返品率

■ 取引規模の推計方法(2015年)

- ① 日用雑貨・一般化粧品の取引規模は、日本商業新聞社『ホームプロダクツスペシャル・業界関係商品の市場規模』(2014年)の推計値(メーカー出荷、消費税課税前ベース)を用いた。
- ② ペットフードは、ペットフード協会『平成26年度ペットフード産業実態調査』の推計値(メーカー出荷、消費税課税前ベース)を用いた。
- ③ 上記①・②の合計金額を、卸・メーカー間の取引規模とした。これに、卸売業粗利率を10%と仮定して0.9を除いた金額を、卸・小売間の取引規模(卸売業売価、消費税課税前ベース)とした。
- ④ 2015年度の取引規模は、上記①～③で求めた2014年度の取引規模にパラメータを乗じて算出したパラメータには、商業動態統計「医薬品・化粧品卸売業の2015年1-12月販売金額合計」の「2014年1-12月販売金額合計」に対する比率を用いた。

■ 返品率は本調査の「卸売業調査結果」を用いた(2015年度)。

「卸売業→メーカー」の返品率:2.82% 「小売業→卸売業」の返品率:2.02%

4. 日用雑貨・OTC医薬品の業界全体の返品額推計

(1) 推計方法—②OTC医薬品

■ OTC医薬品の業界全体の返品額推計方法

- 「卸売業→メーカー」の返品額 = 卸・メーカー間の取引規模 × 返品率
- 「小売業→卸売業」の返品額 = 卸・小売間の取引規模 × 返品率

■ 取引規模の推計方法(2015年)

- ① 卸・メーカー間の取引規模は、厚生労働省「薬事工業生産動態統計年報」における2014年の一般用医薬品の国内出荷金額(製造所・製造販売事務所からの出荷、消費税含む)を1.08で除した金額(消費税抜)とした。
- ② 卸・小売間の取引規模は、上記①に、卸売業粗利率を10%と仮定して0.9を除した金額を卸・小売間の取引規模(卸売業売価、消費税課税前ベース)とした。
- ③ 上記②の2014年の取引規模を、次年度も同規模であるとみなして、それぞれ2015年度の取引規模とした。

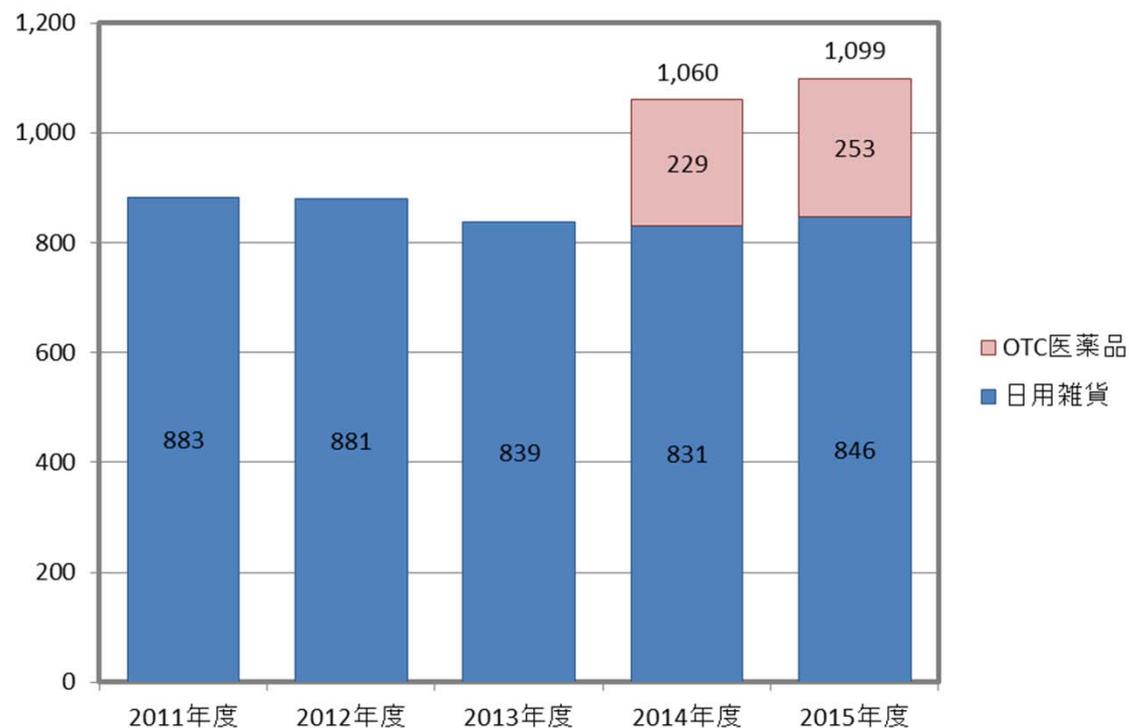
■ 返品率は本調査の「卸売業調査結果」を用いた(2015年度)。

「卸売業→メーカー」の返品率: 3.60% 「小売業→卸売業」の返品率: 3.32%

4. 日用雑貨・OTC医薬品の業界全体の返品額推計 (2) 推計結果

- 業界全体の2015年度の返品額は、日用雑貨で846億円と推計され、前年度比15億円増加した。
- OTC医薬品の2015年度は253億円と推計される。

日用雑貨・OTC医薬品の業界全体の返品額推計
(卸売業→メーカー、2010年度～2015年度、億円)



(注) OTC医薬品は2014年度から調査しており、2013年度以前の数値は調査していない。

5.商品部門別・小売業態別集計(日用雑貨)

(1)調査の目的・対象・項目

■ 目的

- これまで返品実態調査は、返品の実態を明らかにするため、全体で一つの返品率を算出してきた。
- しかし、返品の実態は、小売業態・商品分類ごとに異なる。
- そこで今回は、小売業態・商品分類別の返品率を算出し、今後の返品削減の取組に資する知見を得ることも目的とする。

■ 調査対象

- 企業:WG参加の日用雑貨卸売業
- 期間:2015年4月－2016年3月
- 商品:日用雑貨、化粧品、健康/衛生関連(基本的にJICFS分類に基づく)
- 業態:GMS、SM、CVS、Drug、HC、DS、その他

■ 調査項目

- ①小売業への在庫売上高(卸売業の売価ベース)
- ②小売業からの返品額(卸売業の売価ベース)

※小売業からの返品率=②小売業からの返品額 ÷ ①小売業への在庫売上高

5.商品部門別・小売業態別集計(日用雑貨)

(2)商品部門別・小売業態別の返品率

- 日用雑貨「全体」の2015年度の「小売業→卸売業」の返品率は、業態別ではドラッグストア、コンビニエンスストアが高い。
- また、商品部門別では、一般化粧品の返品率が3.6%と高い。

日用雑貨の商品部門別・小売業態別の返品率(2015年度)

	小売業態							
	全体	GMS	SM	CVS	Drug	HC	DS	その他
売上高構成比	100.0%	5.8%	7.8%	5.9%	66.0%	9.2%	3.3%	1.9%
返品率(全体)	2.1%	1.6%	1.5%	2.8%	2.5%	1.5%	1.0%	0.7%
日用雑貨	1.6%	1.2%	1.1%	4.2%	1.9%	1.2%	0.7%	0.7%
化粧品	3.6%	3.1%	3.7%	2.0%	4.0%	3.1%	2.0%	1.8%
健康/衛生関連	1.1%	0.5%	0.9%	0.3%	1.6%	0.9%	0.3%	0.1%
その他	1.6%	0.3%	0.3%	1.5%	3.9%	1.5%	0.4%	0.2%

(注)売上高構成比は、「調査対象卸売業の取引における業態別売上高構成」を意味している。

CVSの日用雑貨の返品は、石鹼・洗剤等一般的な日用雑貨以外の特別な催事商品(くじ・グッズ等)によるもの。

5.商品部門別・小売業態別集計(日用雑貨)

(2)商品部門別・小売業態別の返品率

日用雑貨の商品部門別・小売業態別の返品率(2014年度)

	小売業態							
	全体	GMS	SM	CVS	Drug	HC	DS	その他
売上高構成比	100.0%	7.9%	10.8%	4.6%	52.1%	13.2%	6.3%	5.0%
返品率(全体)	2.2%	1.7%	1.6%	2.0%	2.8%	1.4%	1.3%	1.1%
日用雑貨	1.6%	1.2%	1.2%	3.2%	1.9%	1.2%	0.9%	0.8%
化粧品	3.7%	3.1%	3.3%	1.3%	4.4%	2.5%	2.6%	3.1%
健康/衛生関連	1.5%	0.7%	1.0%	0.4%	2.2%	0.9%	0.4%	0.4%
その他	1.7%	0.4%	0.4%	1.2%	4.0%	1.8%	2.1%	0.4%

(注)売上高構成比は、「調査対象卸売業の取引における業態別売上高構成」を意味している。

CVSの日用雑貨の返品は、石鹼・洗剤等一般的な日用雑貨以外の特別な季節品(年賀状・花火等)によるもの。